

平成21年度日本水産学会 中国・四国支部大会

日時 平成21年11月28日(土)・29日(日)

場所 広島市 西区民文化センター

広島市西区横川新町6番1号 (JR山陽本線 横川駅から200m)

1. 公開シンポジウム 11月28日(土)13:15~16:35

「どうしてクラゲはこんなに大量にやって来るの?」

趣旨 近年クラゲの大量発生による漁業被害が問題となっています。日本海側ではエチゼンクラゲが定置網に入網している様子がテレビ、新聞等で頻繁に報道されました。一方、瀬戸内海ではミズクラゲ、アカクラゲが発生し厄介者となっています。大量発生の原因は環境変化が大きいと考えられていると考えられ、色々と仮説があげられていますが、未だよく分かっていません。本シンポジウムではクラゲの生活史と環境変化との関係を考えながら大量発生、大量出現の謎に迫り、どのようにすれば被害を防げるのか、どのようにすれば大量発生が収まるのかを考えていきたいと思っております。

(1) 趣旨説明

水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所 高柳和史

(2) エチゼンクラゲの大量出現と生物学的特性

水産大学校水産学研究科 上野俊士郎

(3) DNAマーカー解析から推察された大型クラゲの発生源と分散

山形大学理学部 半澤直人

(4) 国際フェリーを利用した目視調査によるエチゼンクラゲ発生予測

広島大学生物圏科学研究科 池田英樹・大川内浩子・吉田敦・上真一

(5) ミズクラゲの大量発生をもたらす再生産特性

広島大学生物圏科学研究科 上真一

(6) ミズクラゲパッチの形成機構と大量発生原因

愛媛大学沿岸環境科学研究センター 武岡英隆

(7) 総合討論

2. 一般講演(ポスター発表) 11月29日(日) 9:30~12:30

<申し込み・問い合わせ先>

〒739-0452 広島県廿日市市丸石2丁目17-5

(独)水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所内

日本水産学会中国・四国支部事務局 薄 浩則

TEL 0829-55-0666 (代)

FAX 0829-54-1216

e-mail usuki@fra.affrc.go.jp

来聴歓迎!!
(入場無料)



シンポジウム、一般講演ともに会員以外の方も参加できます